

ハイドロライズ型ピッチコントロール剤 ニッカソルト PC-1

ピッチの元凶となる樹脂を加水分解（ハイドロライズ）
させるピッチコントロール剤！

- ピッチの巨大化を防止・抑制する
- 粘着性を低下さパルプ・紙製造装置への付着を防止する
- フローテーション、洗浄にて除去性が向上

樹脂ピッチの加水分解試験

●手抄き紙及び容器蓋ピッチ付着画像

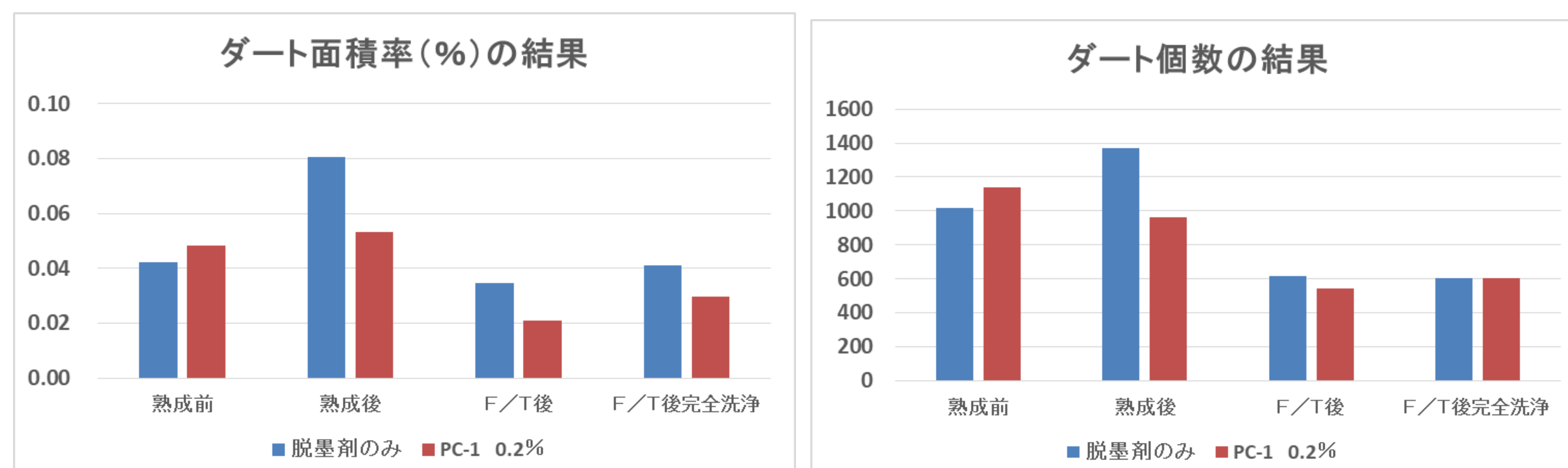
	伝票接着剤	背糊	
	手抄き紙	手抄き紙	蓋付着残留
従来脱墨剤			
ニッカソルト PC-1 併用			

新聞古紙／郵送伝票接着紙 脱墨処理

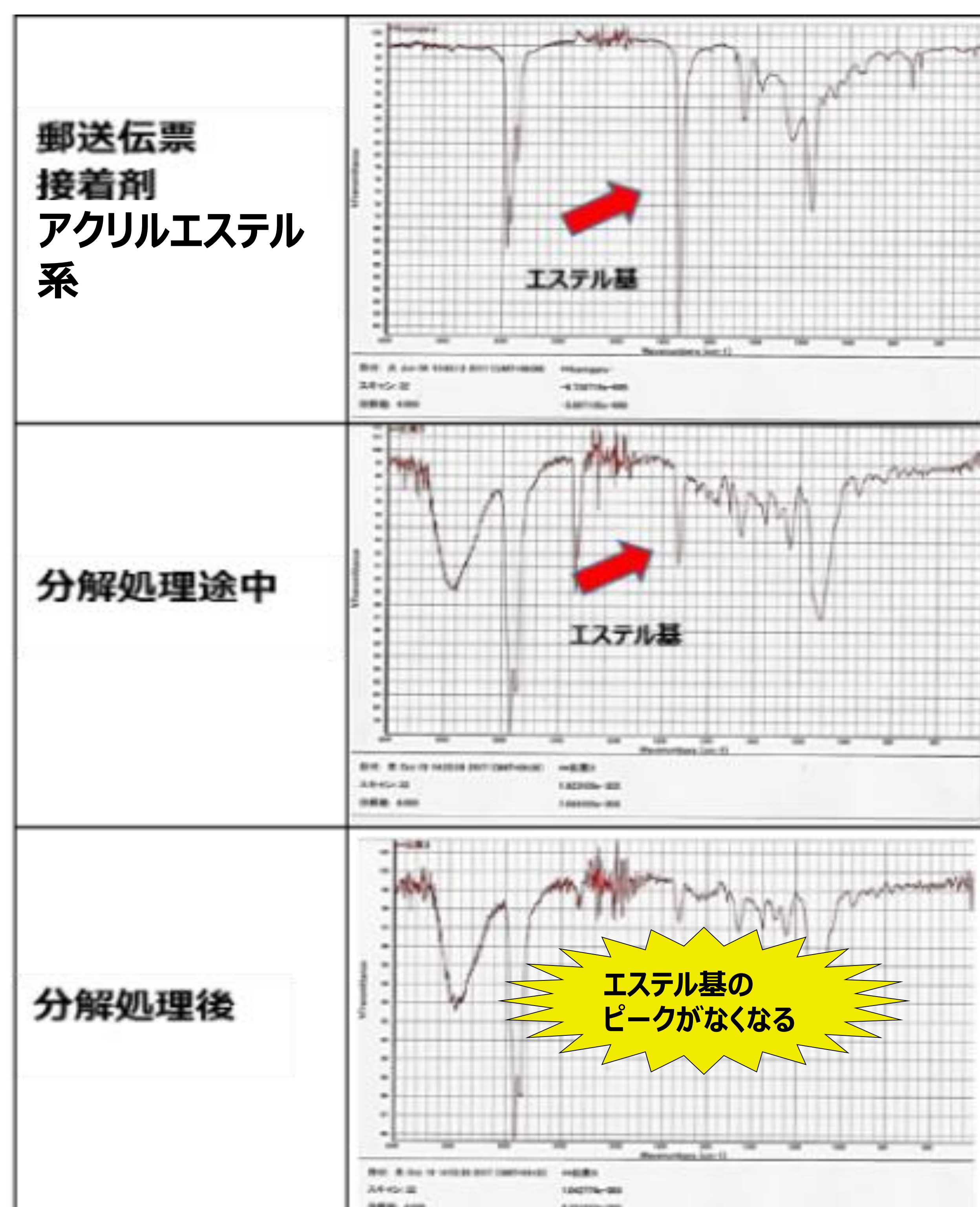
●手抄き紙のスクリーン画像

	熟成後	フローテーション後	完全洗浄後
脱墨剤			
ニッカソルト PC-1			

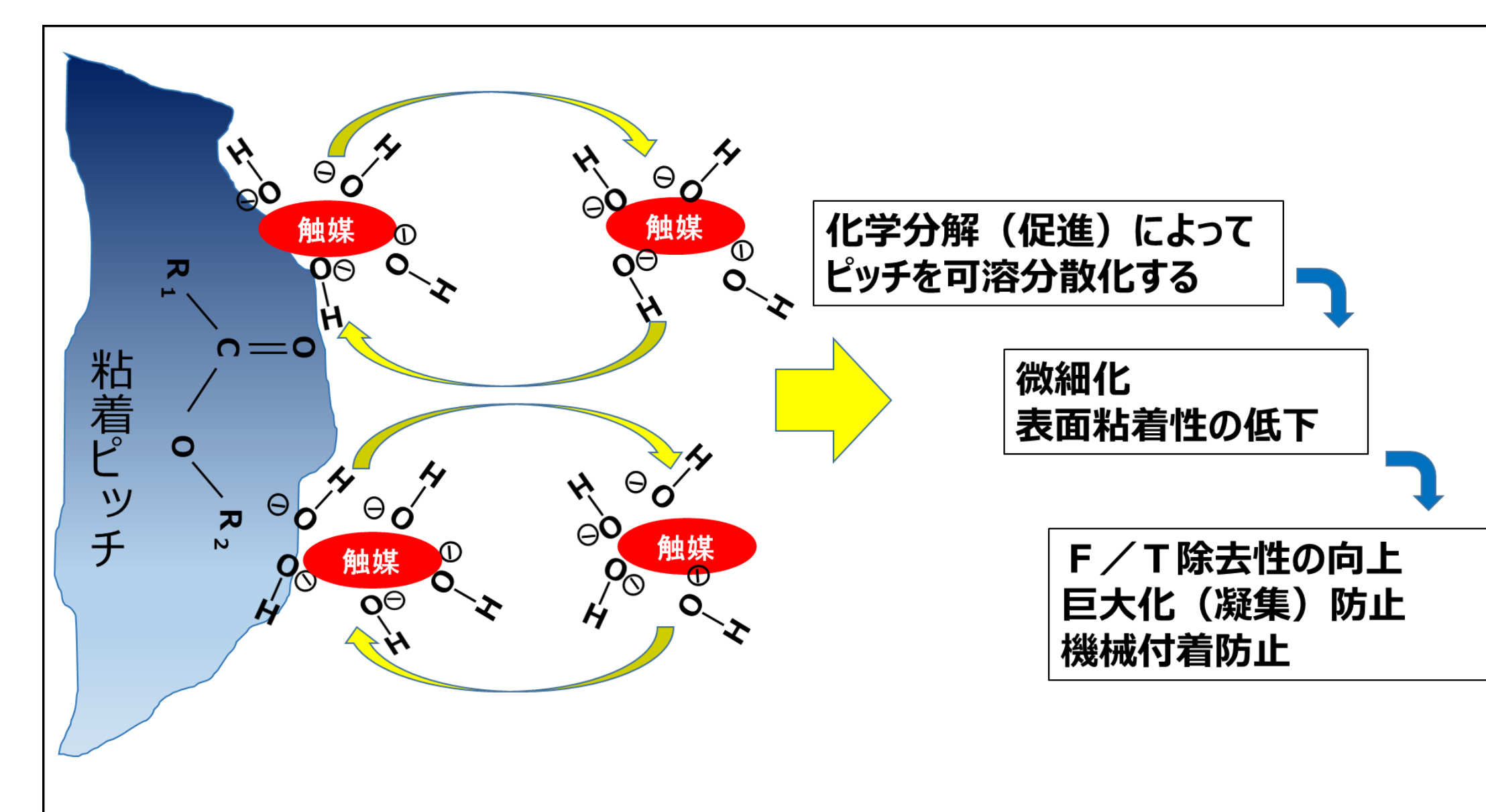
●ピッチのダート数、面積率の低下



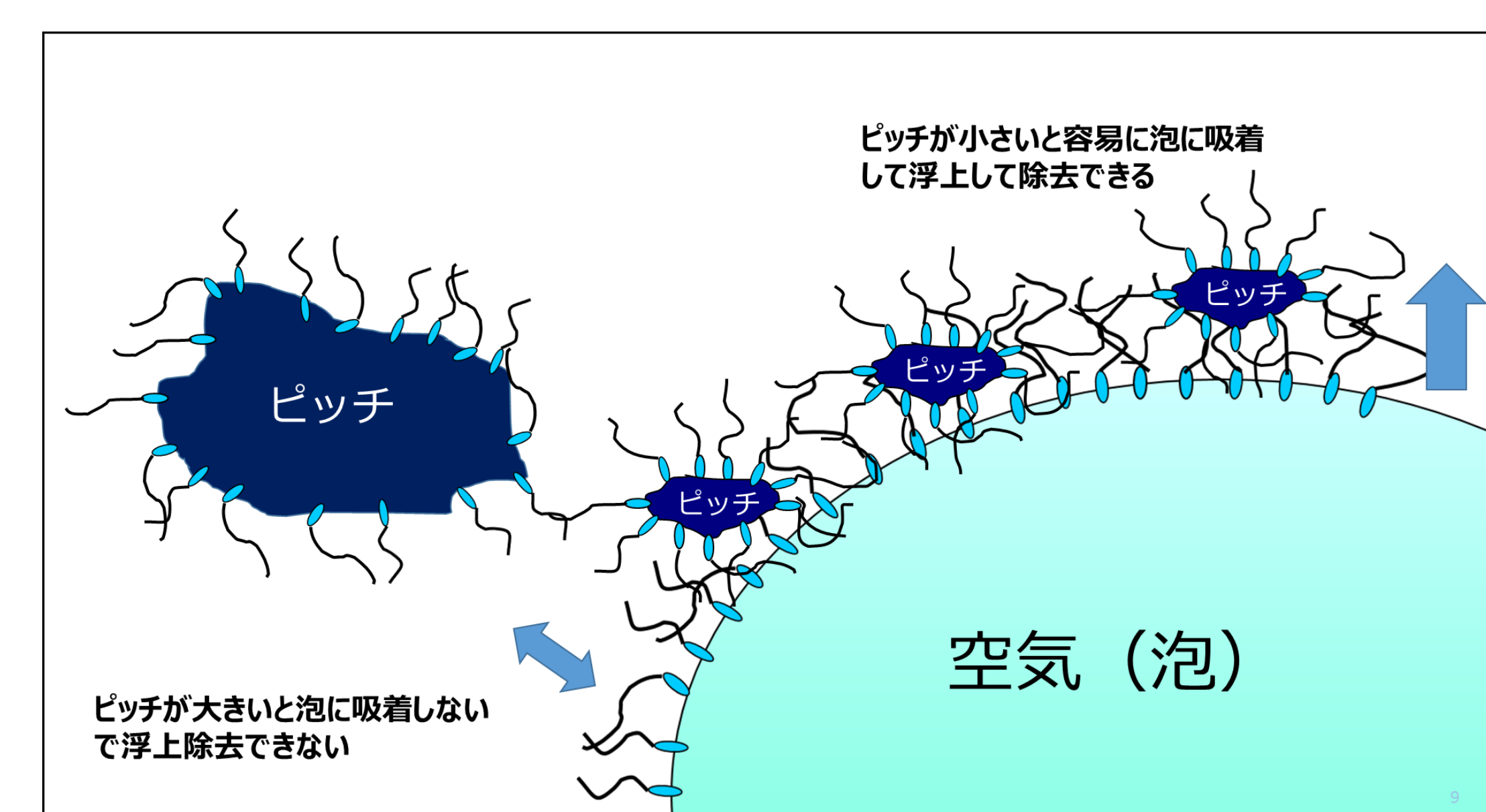
●接着成分の I R 分析



●ピッチのハイドロライズ (加水分解)作用モデル



●ピッチのフローテーション における除去性の違い



これまでの日華化学のピッチコントロール剤との違い

ピッチ対応方法	従来法	ハイドロライズ法（触媒科学）
可溶分散する	界面活性剤・溶剤など <問題点> ピッチは分解せずそのままの状態が存在している 再析出、再凝集して巨大ピッチが発生する	<特長> 触媒の存在により常にピッチは分解する方向で働き 巨大化しない
凝集して除去	高分子化合物など <問題点> 微細化できず、除去できない 凝集した巨大ピッチが残留	<特長> ピッチを分解微細化 フローテーション・洗浄においてピッチ除去
粘着性を低下	無機物（タルクなど）での被覆 <問題点> ピッチの目詰まり 無機汚れの発生 再生パルプの品質低下	<特長> 機械へのピッチ汚れの抑制 汚れ付着防止による品質維持